



# 社中の丘

～塾員の皆さまへ～

## 慶應オンライン

「慶應オンライン」は、インターネットを利用した塾員用ネットワークサービスです。登録することで、塾員同士のさまざまな交流に役立てられます。

主な機能としては、生涯利用可能な転送メールアドレスが取得できるほか、慶應オンラインに登録されている塾員の方を検索し、メールを送ったり、慶應オンライン上でやりとりしたりすることができます。さらに、プロフィールを登録することにより、共通の趣味や話題を持った仲間を見つけてコミュニティを作り、交流することもできます。

塾生時代は、keio.jp

塾員になったら、jukuin.keio.ac.jp

アクセスはこちらから

<https://www.jukuin.keio.ac.jp/>



## 住所変更の届け出

義塾では、「氏名」「自宅住所」「自宅電話番号」「勤務先」等の情報を卒業後も管理し、義塾からのお知らせや三田会・クラス会の連絡等にも活用されます。転居、改姓等による氏名や住所等の変更、勤務先の変更があった場合は、以下の方法で塾員センターまでお届けをお願いいたします。

① E-mail（メールフォーム）

URL <https://www.dco01.adst.keio.ac.jp/kj/jukuin/mailform.html>

② 慶應オンライン（上記参照・初期登録が必要です）

③ FAX 03-5427-1546

④ 郵送

〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45 慶應義塾塾員センター

なお、③・④の方法による場合は、氏名、卒業年、学部、生年月日、自宅住所、自宅電話番号、勤務先を記載のうえ、お届けください。

## 維持会

「慶應義塾維持会」は、義塾の維持運営のために寄付を行う組織として、1901（明治34）年の福澤先生逝去の折に設立された伝統ある組織です。現在会員数は44,400名を数え、会員皆さまからのご厚志は、奨学支援を事業の中核に、義塾の教育・研究活動の充実のために幅広く活用されています。今年度は東日本大震災により被災した塾生の授業料減免の資金を助成いたしました。ご入会いただきますと、義塾機関誌『三田評論』をご加入期間、贈呈いたします。義塾との絆をさらに深めていただきたく、維持会へのご加入をお願いいたします。

URL <http://www.kikin.keio.ac.jp/ijikai/>

三田キャンパス南校舎3階に、塾員ならびに教職員が世代・分野を超えて集える新たな交流の場として、「社中交歓 萬來舎」を開設いたしました。詳しくは30ページをご覧ください。

## 慶應連合三田会大会

毎年秋に開催される「慶應連合三田会大会」では、塾員同士が旧交を温め、日吉キャンパスで楽しい一日を過ごします。講演会やシンポジウム、コンサートのほか、「福引抽選会」など多彩なアトラクションが盛りだくさんです。大会の運営は卒業後10、20、30、40年目の年度三田会が担当します。大会準備の過程で、同窓会が開かれ、同期との久しぶりの再会があり、先輩との交流の中での「塾員の輪」が広がります。



## 三田会

「三田会」は、塾員有志が自発的に集い運営している団体です。塾員同士の強い絆を象徴する義塾ならではの同窓組織といえるでしょう。卒業年による「年度三田会」、国内外の地域ごとに設けられた「地域三田会」、企業単位や業種で結成される「勤務先・職種別三田会」のほか、クラブ・サークル、研究会（ゼミ）などの単位で集う「諸会」があります。これらの三田会を包括する組織が「慶應連合三田会」です。860を超える三田会が登録しています。塾員同士の交流の場として、ぜひ参加・参画してください。

慶應連合三田会 Web サイト

URL <http://www.rengo-mitakai.keio.ac.jp/>

義塾では毎年、「卒業25年塾員招待会」として卒業式に卒業後25年目の塾員を招待し、「卒業50年塾員招待会」として卒業後50年目の塾員を入学式に招待しています。つまり慶應義塾大学を卒業した人は、人生で二度、入学式と卒業式の感動を味わえるのです。さらに、卒業後51年以上の塾員を対象に、「卒業51年以上塾員招待会」も開催しています。

2012年は1987年（昭和62年）128年三田会、1962年（昭和37年）103年三田会をご招待いたします。

# 卒業後も 「義塾社中」の一員として

慶應義塾では、卒業後もさまざまな場面で慶應義塾の伝統である「社中協力」の精神を実感する機会があります。ここでは卒業後の義塾との関わりについてご紹介します。

## 塾員招待会





## しゃちゆうこうかん ばんらいしゃ 社中交歓 萬來舎

～三田キャンパス南校舎に開設～

2011年4月、三田キャンパス南校舎の3階に、塾員ならびに教職員が世代・分野を超えて集える新たな交流の場として、「社中交歓 萬來舎」を開設いたしました。落ち着いた雰囲気のラウンジ施設では、簡単な飲食を提供します。ご歓談・お待ち合わせ等にご利用ください。お一人さまでもお気軽にお立ち寄りください。

【社中交歓 萬來舎のご利用は、塾員および教職員に限りです。  
なお、ご同伴の方はご利用いただけます。】

ご予約・お問い合わせ

社中交歓 萬來舎

月曜日～土曜日（日曜日・祝日休み） 11時～21時

電話：03-3453-5661 FAX：03-3453-5673

URL <http://www2.jukuin.keio.ac.jp/banraisha.html>

少人数で利用できる個室3室（有料）も併設していますので、各三田会をはじめ塾員同士の会合・勉強会等にご利用いただけます（予約制）。



## 福澤諭吉記念文明塾

福澤諭吉記念文明塾（以下、福澤文明塾）は、未来貢献を志す先導者を育てることを目的に、年齢や背景が異なる学生や社会人を集めて「対話と議論」の場を提供しています。春学期と秋学期の2回、それぞれ約3カ月の期間で行う教育プログラム（定員：約50名）を展開しています。2008年以來、現在までに346名の修了生を送り出しています。

福澤文明塾の最大の魅力は、プログラムの内容もさることながら、この場に集う「人」にあります。ほぼ全ての学部の慶應義塾生、他大学の学生、そして中央官庁職員、弁護士や会計士、商社マン、芸術家、主婦といった多様な人々が一堂に会し、互いの経験や考えを語り合い、刺激し合い、切磋琢磨しながら濃密な3カ月を過ごします。

また、未来貢献を謳う福澤文明塾では、プログラム修了後も期を超えた活動が継続的に行われますので、その人脈は深く広いものとなっていきます。

なお、福澤文明塾は皆さまからご支援いただいた寄付金

を元に、「福澤諭吉記念文明塾運営基金」を立ち上げ、その運用益により運営されています。

なお、2010年度、2011年度は特別プログラムとして「環境教育プログラム」も実施されました。

福澤文明塾 Web サイト [URL http://www.fbj.keio.ac.jp/](http://www.fbj.keio.ac.jp/)



## 慶應義塾大学病院は「人間ドック」を開始いたします —2012年8月スタート予定—



\* 2012年春竣工予定の3号館（南棟）の3階に「予防医療センター」を開設し、人間ドックを受診していただく予定です。

予防医学は21世紀の医学の柱のひとつに挙げられ、慶應義塾ではこれまでも研究に取り組んでまいりました。それをさらに推進するとともに、実践の場として医学部と病院が一体となり皆さまの健康をお守りすべく、「人間ドック」を開始することにいたしました。ご関心のある方はまずはパンフレットをご請求ください。

### 当院「人間ドック」の特長

- 三大生活習慣病（がん、心疾患、脳血管疾患）の早期発見を目指す
- 全診療科にわたる高いレベルを生かした良質かつ包括的な健診
- 診断機器は最新鋭の機種を導入
- 診断や検査は各科専門医師や専門技師が担当
- 健診後は個々の状況に配慮して対処

### 資料請求・お問い合わせ先

慶應義塾大学病院人間ドックのパンフレットのご請求は、Webよりご登録をいただくか、下記宛にご氏名、ご住所、お電話番号を郵便またはメールにてお知らせください。

#### 予防医療センター開設準備室

〒160-8582 東京都新宿区信濃町35 [E-mail preventive\\_med@info.keio.ac.jp](mailto:preventive_med@info.keio.ac.jp) [URL http://www.hosp.keio.ac.jp/](http://www.hosp.keio.ac.jp/)

慶應義塾大学病院トップページ「人間ドック」→人間ドック開始のお知らせページ「資料請求・お問い合わせ」のボタンをクリックしてください。ご登録のフォーマットが出てきます。